

そのやま康男の奮闘日記



10月15日[土] おかざき農遊館お米フェア

おかざき農遊館に行きました。この日は岡崎市農林業振興推進実行委員会とJAあいち三河女性部の主催で「お米フェア」いい収穫祭が開催されました。五平餅、さといもみそ汁、さつまいもご飯をおいしく試食(えっ?無料?)しかもおかわり自由)し、自然の恵みに感謝です。



9月17日[土] 大人フットベースボール大会



岡崎フット同好会 大人フットベースボール大会を見ました。快晴のスポーツには最高の天気です。愛好者なら誰でも参加できて、思いっきりフットを楽しめる場を提供し、年齢や地域の枠を越えた親睦、交流を通じ、より深い人となりを確かめ合う場にする目的で、中央総合公園球場にて開催されました。参加された皆さんがとも楽しそうで、見るよりもプレーしたくなりました。(議員フットベースボールズ誕生か?)

8月7日[日] 納涼 流しソーメン

この暑い夏を元氣良く乗りきろうという事で、流しソーメンをやりました。急な企画にもかかわらず、夕方から沢山の皆さんが集まって下さいました。どうぞせなら本格的にやろうと思って、竹を切ってきて挑戦してみました。水の量や段差など苦労しながらも、何とか格好はつきました(う〜ん、これは風流、自画自賛)。しかし、これだけあれば大丈夫だと計算し用意したソーメンは「あっ!」いう間になくなり、この日ここで作った手作りソバも流す始末…。私の段取りが悪くてすみません。また、早くからお手伝いしに駆けつけていただいた女性部の皆さん、美味しい手作り料理ありがとうございました。



ホームページ審判日記より 詳しくはインターネットで「園山康男」と検索下さい

- 家族
妻：幸喜恵 結婚前教師
長女：薫子 小学5年生
次女：響子 小学2年生
- 好きな言葉
「雨にモマケス」宮澤賢治
- 血液型
B型
- 趣味
剣道五段、合気道二段、ゴルフ、ウォーキング
旅行、映画

雨にモマケスの精神で頑張ります!



一生懸命大好きです! そのやま康男 がんばるNEWS



発行・そのやま康男後援会

〒444-0005 岡崎市宇南屋敷17-1 電話0564-58-3118 FAX0564-58-3265
E-mail info@sonoyama-yasuo.jp HP http://www.sonoyama-yasuo.jp/

皆さまへのご挨拶

多くの皆様より、真心のこもったご支援を賜り、岡崎市議会議員になり、はや一年が過ぎました。私へ寄せいただきましたご期待にそむくことのないよう、当選以来与えられた仕事を一つ一つ全力で取り組んでおります。今後もそのやま康男を、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



そのやま康男



私が担当する「主要施設建設検討特別委員会」の調査報告があり、委員長報告がありました。本委員会は平成16年11月に設置以来、元氣と活力を創出する拠点づくりを目標とし、保健所を核とした複合施設整備を旨とする「(仮称)岡崎げんき館」の、防災拠点機能を持つ分庁舎を早期に建設することとして「(仮称)東館」

9月議会報告(特別委員会報告)

私を担当する「主要施設建設検討特別委員会」の調査報告があり、委員長報告がありました。本委員会は平成16年11月に設置以来、元氣と活力を創出する拠点づくりを目標とし、保健所を核とした複合施設整備を旨とする「(仮称)岡崎げんき館」の、防災拠点機能を持つ分庁舎を早期に建設することとして「(仮称)東館」を始めとする庁舎等の整備について調査研究を重ねてきました。『げんき館』では、「温水プールや会議室については可能な限り休祭日にも営業するとともに、他の公共施設のように、午後5時で閉めるのではなく、できる限り遅い時間まで営業すべきである。」「本月初のPFI事業で営業すべきである。」「本初は今後の民間活用事業に大きく影響を与えるモデルケースで、当局は開業後を民間に任せただけでなく、限用者の確保やサービスの向上に最大限の努力をすべきである。」「東館」では、東庁舎、西庁舎という名称では、その基になる中心の建物が無いことになるため、どちらかを本庁舎とするなど、呼称を再検討すべきである。」「市民が自分の行きたい場所を把握しやすくするため、あるいは混雑感を解消するために、東庁舎の入り口から窓口が望めるような見通しの良いロビーとすべきである。」などの意見結果の発表がありました。

安全な暮らし

委員会報告 起震車取得について

先日、委員会が開かれ、我が町の委員会で「起震車の取得について」説明がありまして、新しい起震車の特徴は、4チャンネルの新しい起震車の特徴は、コンピューター制御により、前後左右上下方向にそれぞれの油圧シリンダーを作動させた3軸方式を採用しています。その他に、体の不自由な方にも安全に体験できるように、車椅子の方には車椅子搭載用リフトを設置し、目の不自由な方には「ブリーション」や地震効果音で、耳の不自由な方には映像で表示できるようにしています。また、国際化に対応した幅広い啓発活動を行うために、再現地震地震階級についての説明を日本語の他に英語、中国語、韓国語、ポルトガル語の5ヶ国語で説明できます。名称は、現在の「マグマ号」が、昭和56年から24年間、市民から親しまれた愛称なので、「マグマ号」を継承したいとの事です。指導内容については地震発生で、まず最初に行動するのは「身の安全」ということで、例えば机の下に身を寄せ、地震が治まったところで、すばやく火の始末を行うように指導してきたいとの事です。



そのやま康男後援会からお知らせ

- 1 そのやま康男新年の集い
1月8日午後2時より、中央総合公園第1練習場にて「そのやま康男新年の集い」を開催することが決定いたしました。どうぞ皆様お誘いあわせのうえ、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。後援会事務所まで受付を開始しております。[電話58-3118]
- 2 女性部もえぎ(萌黄)会と命名
選挙Tシャツでおなじみのそのやまカラーにちなんでフレッシュさと燃える情熱を秘めた、「園山を支えるぞ〜!」という気持ちを込めました。

皆さんの役にたい! 日々の生活の中で「こうしてほしい」といった皆さまのお声を聞き、お手伝いしています。『午前7時〜9時車輦通行できません』『こどもの飛び出し注意!』等、通学路の安全確保の依頼を受け、看板を設置しました。

昭和40年3月14日/鳥根県大社町に生まれる
父：満男(大社町 元収入役)
祖父：森吉(大社町 元町会議員 議長)
●昭和58年/愛知県 中京大学体育学部入学
●昭和62年/愛知県 中京大学体育学部卒業(教員免許取得)
●昭和62年/鳥根県町立中学校 勤務
●平成3年/鳥根県立豊学校 勤務
●平成5年/会社勤務
●平成10年/取締役 就任
●平成14年/代表取締役 就任
●平成16年/岡崎市議会議員に初当選
環境教育委員会
主要施設建設検討特別委員会

岡崎市議会

一般質問に立ちました そのやま康男



1. 教育行政について

幼児、児童、生徒の安全確保

校内の不審者侵入のセキキュリティー対策、現状指導、今後の指導

問 安全・安心の町づくりは市の基本目標で地域の将来を担う子どもたちの安全確保は大切です。また不審者に対するセキキュリティーの対策等を伺いたい。

答 各学校では危機管理マニュアルを作成し、不審者の侵入防止訓練を実施している。侵入対策としては門扉の設置、17年度末には100%設置をする。インターホンは現在2教室に1台設置を、1教室に1台設置をする。また外周をフェンスで囲むことも合わせて実施していきます。保育園では、職員

に笛を携帯させ危険の通報や緊急通報システムにより警察署及び消防署に通報するようにしている。今後保育園に非常用押しボタンの取り付けや警報付赤色回転灯などを設置予定だ。



校舎、体育館、プール、遊具等の安全点検の指導と結果に対するの対応

答 遊具の安全点検は月に1回行っている。校舎、体育館、プールについては、学校ごと常時点検を行っている。不良箇所は修理や改善などの対応をしている。

登下校時の通学路の安全確保についての指導

答 学校ごとに地域における各種の団体、町内会、老人会などにより、ボランティアなどと呼びかけをして、ボランティアによるパトロール巡視をお願いしている。また警察などと連携し現在22のボランティア団体に協力を得ている。

万博参加の教育的意義

問 どのように捉えているか

答 博覧会見学を通して、自然の豊かさや不思議さを学び、環境問題について考える機会、さらに国際感覚豊かな教養を身につけ、国際社会の異文化を体験できるなど大きな効果を得ていると思えます。

現在の参加状況

答 5月末日まで、小学校は16校、中学校6校で延べ8839人が参加している。

生徒、引率教員の感想

答 参加した生徒は、「マンスに毛が生えていてびっくりした」とか「アルプスの雪が溶けたり、北極の水が溶けていないといけな」と思うなど、大変よい学習ができたとの感想を寄せていました。引率の教員からも、参加した生徒のすばらしい学習になったとの声が多かった。

2. 消防行政について

合併後の体制

消防体制(施設・車両・人員配置)の構想

答 額田町は全体の87%が森林で面積は岡崎市の約70%にあたる広大な地域です。消防体制は、常時消防として、檜山に東消防署額田出張所があり、職員は17名で消防ポンプ車及び救急車、連絡車を配備しており、消防団については4分団2500人の組織で活動しています。合併後の消防体制は、地理的な条件や出動状況及び災害発生状況等を総合的な判断に立って、消防の充実強化につとめます。



問 額田町との合併後の救急体制については、広範囲となるためヘリコプターの導入の計画はないか。

答 平成14年1月から愛知県でドクターヘリが運用されており、岡崎圏内であれば15分程度到着することができ、昨年度は480件出動しており、額田町内でも発生した急病等で8件の出動要請をしております。本市単独の防災ヘリコプターの導入については、その効果は大変期待できるが、価格が10億円かかり、さらに維持管理費もかかる等、現時点では困難です。

問 高価で維持管理費もかかることは分かりますが、広域的に近隣の市町の持ちあいによる導入はどうか。

答 本市単独での導入は困難ですが、将来的には三河圏という広域的な規模で議論が持ち上がった場合には、検討してまいりたいと思います。



3. 道路行政について

渋滞調査、対策

問 アイシン・エイ・ダブリュ岡崎東工場の建設が進んでいる。当初は従業員が2500規模であるが、最終では3000人規模と聞いている。通勤ルートや交通手段はどうなるか。

答 アイシン・エイ・ダブリュ岡崎東工場を含む工業団地へは、多くの社員がマイカー通勤するものと思われる。国道473号が通勤道路として利用されることになり、国道473号の通行性能が高く大きな渋滞はないと考えております。また国道473号バイパスは、本宿町国道号線より(仮)額田インターチェンジまでの延長約3kmで、東部工業団地の南側を通するルートが計画されており、現在都市計画決定に向けて地元と協議調整中です。

4. 主要駅整備について

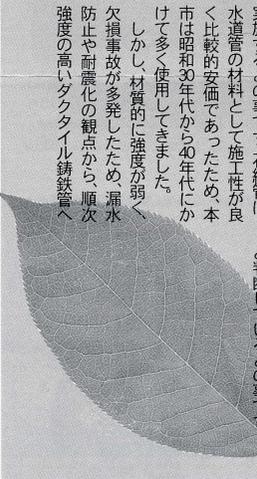
バリアフリー化の現状と整備計画

問 主要駅整備のバリアフリー化について、バリアフリー法では一日の乗降客500人以上の主要駅を対象としているが、主要駅の階段については、お年よりや障害者にとっては苦痛となります。各駅美合駅では養護学校の設置計画もあり、障害者が駅の階段を利用するのは苦痛であるので、エスカレーターの設置を鉄道事業者に要請してほしい。

答 岡崎駅としてはJR工業団地をはじめとする6駅を対象としてバリアフリー化を進めております。この指摘の美合駅については、計画中の学校は小中等部门はスクールパスは、本宿町を予定していることなど、最大で高等部の生徒40人ほどが利用することになると思われまます。また自力通学の生徒は入での通学が基本ということなので、階段の昇り降りに大きな支障はないと思われまます。駅舎のバリアフリー化については、今後継続して鉄道事業者に協議要望をしております。

岡崎市アスベスト対応

本市は1995年以前に建設された市が所有または管理する建物1021棟を対象に調査し、アスベストを含有する吹き付け材が使用されていることが判明した建物が16棟あった(アスベスト含有不明が280棟)。多くの人が出入りする建物は市役所北側立体駐車場(鉄骨の梁、吹矢駐車場柱、梁、車路天井、康生地下駐車庫、空路部屋天井、市体育館(駐車場、空調室、フロア室)の天井、アリーナの天井)の4棟で、環境調査を定期的に実施し、飛散が認められたときは施設の閉鎖も検討する。このほか、市民会館、機械室、映画室等の天井、壁、梁、美術館(1・2階機械室内壁)、太陽の城(機械室、物置の天井、梁、壁、ハッククリーセンター)フロア室内の内壁、天井、男川浄水場自室発電室、建物内画、岩津市民センター、機械室内壁など12棟でも確認されたが、機械室など特定の人が出入りしている場所だった。アスベスト使用が不明の建物については、早急に分析調査を実施することです。石綿管は水道管の材料として施工性が良く比較的安価であったため、本市は昭和30年代から40年代にかけて多く使用してきました。しかし、材質的に強度が弱く、欠損事故が多発したため、漏水防止や耐震化の観点から順次、強度の高いタクトイル鍍鉄管へ



と布設替えを実施しています。総延長1495.14mに対して平成14年度末の布設替え済み延長は1420.015mで、進捗率は95%です。引き続き道路整備工事などの引き換えを努め、19年度を事業実施の目標として布設替えを進めていくとの事です。次に「石綿管内の水道水の安全性について」ですが、厚生労働省の見解で「アスベストは呼吸器からの吸入に比べ、経口摂取に伴う毒性はきわめて小さく、また、石綿管内の水道水中のアスベストの存在量は問題となるレベルにないことから、水質基準の設定を行わない」となっています。また、WHO(世界保健機構)が策定、公表している飲料水水質ガイドラインにおいても飲料水中のアスベストについては健康影響の観点からガイドライン値を定める必要はないと結論できるとしています。これらのことから、石綿管内の水道水については安全であると判断しているとの事です。